

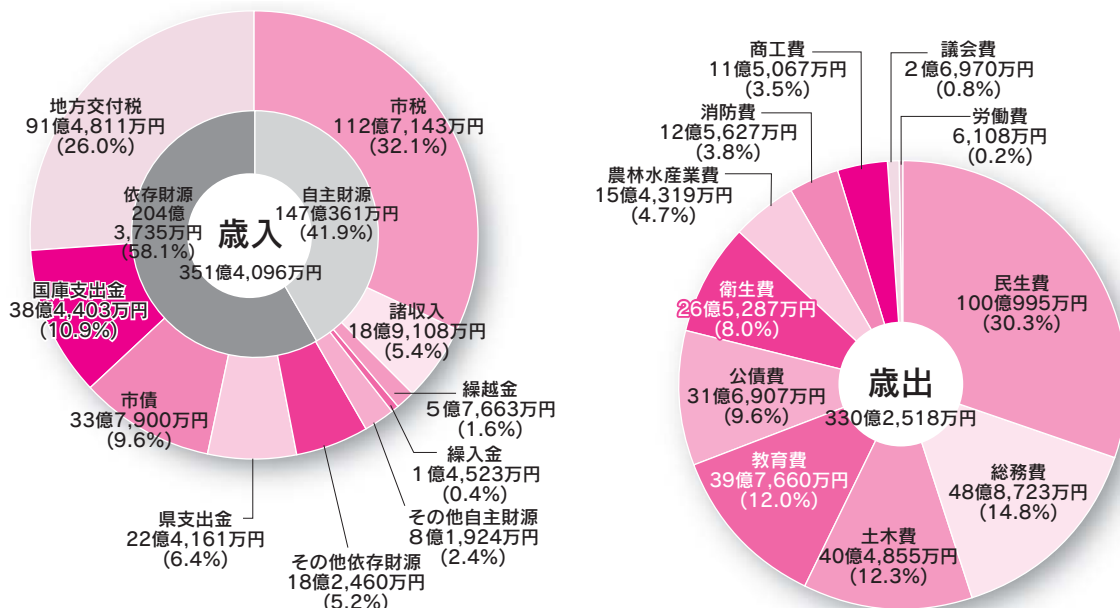
市の決算状況を報告します



大好きな遊具に登って元気いっぱいな第一保育所の子どもたち

一般会計 歳入351億4,096万円／歳出330億2,518万円

平成22年度決算における、一般会計の歳入総額は、351億4,096万円で、前年度の決算額と比べて2%の減でした。また、歳出総額は330億2,518万円で、前年度比3.1%の減となりました。項目別の割合をみると、収入の部では市税や地方交付税が増えました。また、支出の部では、総務費や衛生費は減りましたが、民生費が大幅に増えました。



支出の性質別内訳

支出の合計		330億2,518万円	100.0%
支出することが決められている経費		149億9,446万円	45.4%
	人件費(市職員の給与など)	62億7,206万円	19.0%
	扶助費(市民への直接的な給付)	55億5,350万円	16.8%
	公債費(借入金の償還費)	31億6,890万円	9.6%
支出するかどうか自ら決められる経費		139億2,642万円	42.2%
	物件費(物件購入、委託料など)	48億5,318万円	14.7%
	補助費(福祉や団体活動などへの補助金)	39億3,439万円	11.9%
	貸付金(民間などへの融資)	7億1,654万円	2.2%
	その他(※)	44億2,231万円	13.4%
資産を形成する支出		41億430万円	12.4%
	市民生活の基盤整備	41億430万円	12.4%

※その他は、維持補修費、災害復旧費、積立金、繰出金です。

**本市の状況は
「健全化判断比率等の基準内」**

22年度の決算状況に基づく「健全化判断比率」と「資金不足比率」は下表のとおりです。

「健全化判断比率」では、4つの指標のうち、いずれも早期健全化基準や財政再生基準を超えないことが健全な財政状況にあることを示します。また、市の公営企業会計では、「資金不足比率」が経営健全化基準を超えないことが健全な財政状況にあることとなります。

本市の状況は、すべての比率が基準値を下回り、財政運営が健全な状況であるという結果になりました。

●健全化判断比率

比率の名称	本市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	12.29%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	17.29%	35.0%
実質公債費比率	9.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	60.5%	350.0%	-

●資金不足比率

比率の名称	本市の比率	経営健全化基準
資金不足比率 (各公営企業会計)	不足なし	20.0%

■ことばの説明

実質赤字比率

行政サービス全般に関する経理を行う一般会計などの赤字の程度を指標化したもの。赤字がないことが望ましい。

連結実質赤字比率

全会計の赤字や黒字を合算し、市全体での赤字の程度を指標化したもの。赤字がないことが望ましい。

実質公債費比率

借入金の返済額とそれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。数値が低いほうが望ましい。

将来負担比率

市の一般会計の借入金や将来支払う可能性のある負担などについて、現在残高の程度を指標化し、今後の財政を圧迫する可能性を示す比率。数値が低いほうが望ましい。

資金不足比率

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示す比率。不足額がないことが望ましい。

特別会計・企業会計

項 目	収 入	支 出	
特 別 会 計	国民健康保険(事業勘定)	97億8,637万円	95億459万円
	国民健康保険(診療施設勘定)	1億2,892万円	1億2,892万円
	老人保健	90万円	90万円
	後期高齢者医療	8億193万円	7億8,520万円
	介護保険	62億5,566万円	62億447万円
	特別養護老人ホーム事業	3,987万円	3,987万円
	農産物直売事業	6,744万円	5,829万円
	伊香保温泉観光施設事業	9,773万円	9,773万円
	小野上温泉事業	2,011万円	2,011万円
	交流促進センター事業	1,304万円	1,304万円
	白井温泉こもちの湯事業	3,430万円	3,430万円
	たちばなの郷城山事業	2,739万円	2,739万円
	下水道事業	19億6,675万円	19億5,568万円
	農業集落排水事業	16億9,545万円	16億8,904万円
水 道 事 業 会 計	個別排水処理事業	3,633万円	3,633万円
	簡易水道事業	2億6,205万円	2億6,170万円
	収益的収支	16億3,413万円	15億7,977万円
病 院 事 業 会 計	資本的収支	1億9,708万円	10億6,823万円
	収益的収支	14億7,528万円	16億6,978万円
病 院 事 業 会 計	資本的収支	7,001万円	1億7,879万円

※水道事業会計で資本的収入額が資本的支出額に不足する分は、当年度分損益勘定留保資金などで補いました。

※病院事業会計で資本的収入額が資本的支出額に不足する分は、繰越工事資金で補いました。

基金および市債の状況

項 目	平成21年度末	平成22年度末	増 減
基金(一般会計)	39億8,702万円	55億6,932万円	15億8,230万円
財 政 調 整 基 金	24億8,946万円	36億38万円	11億1,092万円
減 債 基 金	0万円	5億円	5億円
特 定 目 的 基 金 (※)	14億9,756万円	14億6,894万円	△2,862万円
市債(借入金)残高	612億5,235万円	616億8,556万円	4億3,321万円
一 般 会 計 ・ 特 別 会 計	533億1,283万円	540億6,710万円	7億5,427万円
水 事 業 会 計	61億5,190万円	58億4,787万円	△3億403万円
病 院 事 業 会 計	17億8,762万円	17億7,059万円	△1,703万円

※特定目的基金とは、福祉事業基金、国際交流基金など用途が特定されている基金のことです。